

2/16 Sat シアターカフェ
定員15名、全席自由席、入替制

16:00 (開場 15:45) 『マキタカズオミ監督特集』 映画上映十トーク (2作品 68分) 1ドリンク付き・1,300円(税込)

『リクエスト・コンフュージョン』(2017年/38分35秒)



佳奈美は数日後に迫った同人誌即売会のために漫画を描いていた。即売会当日。二次創作や BL 系の漫画が多い中、格闘物やヤンキー物の漫画は全く売れず、売れているブースを悔しそうに見ている佳美。すると、思いかけない人物を目撃する。同級生の妹尾健太郎、通称“狂犬”と呼ばれている不良だった。

■監督・脚本：マキタカズオミ ■出演：武田杏香、玉川蓮、松本穂香、SILYUS1ほか

『ファントム・ジェニー』(2015年/29分)



MtFの美都は、タイで性別適合手術を受け帰国した後、既にはないはずのペニスが勃起している感覚に悩まされていた。FtMの彼氏・志郎にもそのことは言えなかったのだが…。大須にじいる映画祭2016 ショートフィルムコンペティショングランプリ作品。

■監督・脚本：マキタカズオミ ■出演：氏家康介、岡田悠希、根岸絵美、永山智啓、菊地奈緒、石橋征太郎、青木十三雄、松本みゆき

監督：マキタカズオミ
映像制作会社に勤務する一方、脚本家として活動。主な作品として、映画「思春期ごっこ」、映画「スリリングな日常」、ドラマ「横溝 正史時代劇・人形佐七捕物帳」がある。
監督としては、映画「ファントム・ジェニー」が大須にじいる映画祭、東京国際ゲイ&レズビアン映画祭をはじめ、韓国、中国、台湾、台湾、ベルギーで上映された。

映画祭のお問い合わせ・チケットご予約等は、大須にじいる映画祭公式サイト：
osurainbowfilmfestival.org から。
電話予約は、090-1237-2705まで。

17 Sun 大須演芸場
10:15 (開場 10:00) 『イッシュウガイ』(2017年/108分) 映画上映十トーク



2017年12月にニジローモーチャーという団体が新宿シアターモリエールにて上演した舞台作品。脚色・演出は社会派の作風に定評がある劇団時間制作の谷碧仁。主演は仮面ライダーフォーゼなどで知られる土屋シオンと元AKB48の田名部生来。ある日、母が倒れた。高校生のマユに降りかかった大きな不幸だった。障害…母親が、母親でなくなっていく。あの日から、幸せだったはずの家族は確実に変わった一。

定員130名、全席自由席、入替制
開場は上映時間の15分前の予定です。
上映開始30分以上経過後の入場はお断りします。

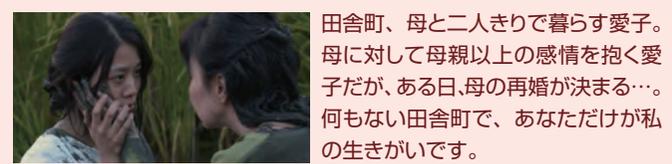
愛知初公開!
1,300円(税込)

監督：谷碧仁(たにあおと)
1991年6月13日生まれ。27歳。愛知県出身。劇団時間制作主宰。
2013年2月に劇団を立ち上げ、旗揚げ公演以来、全ての作品の演出を務める。重苦しさが漂う舞台ではなく、明日から何かしらの力が芽生える作品になっている。2017年末には、観客動員2000名を達成。2017年12月ニジローモーチャー主宰 舞台『イッシュウガイ』の脚色・演出を担当。

■監督：谷碧仁 ■企画・脚本：若林祐麻 ■プロデューサー：丸若薫 ■配給：ニジローモーチャー、アルミード ■出演：土屋シオン、田名部生来、柴小聖、上田悠介、薫太、ほか

14:55 (開場 14:40) 大須にじいる映画祭 2019 フィルムコンペティションノミネート作品上映

『幸福な、』(2018年/39分30秒)



田舎町、母と二人きりで暮らす愛子。母に対して母親以上の感情を抱く愛子だが、ある日、母の再婚が決まる…。何も無い田舎町で、あなただけが私の生きがいです。

■監督：中須彩音 ■プロデューサー：堀江花恋

『あり。』(2018年/22分53秒)



お兄ちゃん二人がお姉ちゃんだった!

18:00 (終了予定 20:00) 大須にじいる映画祭交流パーティー @ シアターカフェ 参加費 1,000円(税込)

皆さんで見た映画について語ったり、さまざまな方と交流できたら、と思っています。どなたさまもお気軽にお越しください。詳細は大須にじいる映画祭公式サイトで更新していきます。

チケットはありませんので、当日お支払いください。
※持込みウェルカムです。フード、ドリンクなんでもOK。
※※「なっとく豚」さんからフードの協賛があります。

納豆喰豚

大須にじいろ映画祭2019

13:00 (開場 12:45) 『虹色の朝が来るまで』(2018年/63分/日本語、日本語字幕) 映画上映十トーク 愛知初公開! 1,300円(税込)



手話サークルで知り合ったろう者の高橋 華と星野 あゆみ。華は初めて同性に惹かれ戸惑うもあゆみと交際することになる。後日、華は実家へ帰り両親にあゆみとの交際について話すと、いつも味方だった母親から思いがけず拒絶されてしまう。母親の拒絶に華はショックを受けるが、あゆみとの関係を断ち切ることがどうしてもできない。あゆみは、東京で開かれるろう LGBT イベントを偶然見つけ、華を誘う。ふたりは、初めて会うろう LGBT の人たちと交流し、華は次第に心を開いていく…。

監督・脚本・編集：今井ミカ
1988年12月12日生まれ。群馬県出身。監督作「あだ名ゲーム」「100ページ目の告白」「食べる。」「私たちは、あきらめない〜朋心会〜」など。
2011年、和光大学表現学部に入学生、映像制作を中心に学ぶ。現在は、IT 会社に勤務するかたわら、ろう者を題材に音のない映画作品を作り続けてきたが、映画「虹色の朝が来るまで」初めて音響をつけた映画作品制作に取り組んでいる。

■監督・脚本・編集：今井ミカ ■企画・製作：JSL Time ■出演：長井恵里、小林遥、玉田宙、佐藤有菜、ノゾム、菊川れん、高木里華、太田辰郎 ほか

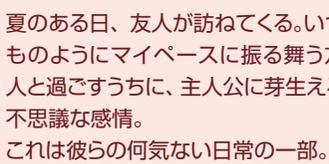
映画祭当日、観客アンケートも含め、グランプリを決定します。グランプリ審査中に特別招待作品『老ナルキソス』を上映します。 600円(税込)

『汲めども尽きぬ 君になら』(2018年/9分1秒) 『高校5年生』(2018年/17分)



夏のある日、友人が訪ねてくる。いつものようにマイペースに振る舞う友人と過ごすうちに、主人公に芽生える不思議な感情。これは彼らの何気ない日常の一部。

■監督：井坂雄哉



あなたは卒業できないものってありますか?

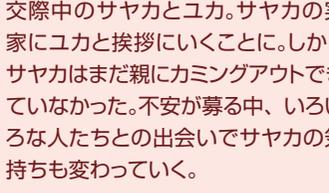
■監督：日下龍

『バージンロード』(2018年/39分26秒)



交際中のサヤカとユカ。サヤカの実家にユカと挨拶していくことに。しかしサヤカはまだ親にカミングアウトできていなかった。不安が募る中、いろいろな人たちとの出会いでサヤカの気持ちも変わっていく。

■監督：長谷川裕加



ゲイでナルシストの老絵本作家・山崎(田村泰二郎)は老いて醜く衰えゆく自分の姿に耐えられない。山崎はある夜、若く美しい男性レオ(高橋里央)に出会う。レオとのプレイ中に倒れた山崎は老いの苦しみを打ち明けるが年若いレオには響かない。

■監督：東海林毅

18:45 (開場 18:30) 『わたしの居場所〜新世界物語〜』(2017年/77分) 映画上映十トーク 愛知初公開! 1,300円(税込)



大阪新世界、通天閣のお膝元にあるお好み焼き屋「千両」。お客の目当ては鉄板カウンターで作る美味しいお好み焼きと店を切り盛りするオカマのひろ子ママ。15歳の鹿児島から集団就職で大阪に出て来たママは、新世界でオカマバーにスカウトされ、40歳の時に化粧を落とし「千両」の舞台に立ち続けてきた。しかし、30年目を目前に癌が見つかる。それを機にこれまでの人生を振り返り、52年間帰れなかった故郷鹿児島を訪れる決意をする。新世界と鹿児島。ひろ子ママの生きてきた居場所を巡る物語。

監督：武田倫和
1979年生。2001年原一男監督主催のOSAKA「CINEMA」塾参加。2003年「ウトロ家族の街」(原一男監督)を初監督。2010年南京大虐殺の元兵士被害者取材した「南京 引き裂かれた記憶」、2014年地方の選挙のあり方取材した「イナカのせんきょ」、2018年に日本ボクシング界の現状に問いを投げかけた「破天荒ボクサー」を製作・監督し劇場公開した。